

令和7年度 学校評価報告書（目標設定）全日制

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着及び学習意欲の向上に向けて、ICT機器（一人一台端末）の活用と学習状況の把握に資する評価の工夫・改善を図る。 カリキュラム・ポリシーの実現に向けた教育課程のマネジメントを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の利活用を工夫し、わかる授業（授業改善）や主体的な学び（地域探究活動等）を推進する。 社会的・職業的な自立、福祉のプロを目指したカリキュラム（カリキュラム・ポリシー）をとおした自己実現を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ICTの利用やループリック評価の展開も進めて教科横断的な授業改善を意識した「わかる授業」と「主体的な学び」の取組を推進していく。 学習活動における生徒の多様な状況への対応について、教員のスキルアップを図るとともにSC、SSW等と連携を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価や、地域探究活動の振り返り等において生徒の自己評価の肯定的評価が8割を超えるか。 多様な状況に対して、SC、SSWと連携した適切で効果的な教育相談的な体制を構築することができたか。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒がそれぞれの得意分野で主人公となって学校生活や学校行事に取り組めるような支援体制の充実を図る中で、コミュニケーションする力を育成する。 基本的生活習慣の定着を図り、モラル・マナー・ルールを遵守する心を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション力の醸成や相手の立場を理解する力を身に付けるための手立て・方策について、研究・実践する。 服装・頭髪指導や交通安全教育をとおして、モラル・マナー・ルールを遵守する心を育む活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動や体育祭、文化祭など学校行事等の生徒会活動において、生徒の活動を具現化していく方策を働きかけていく。 教育相談業務について、教員の意見交換、研修の機会を定期的に設けるなどしてスキルアップを図る。 生徒状況を把握し関係機関とも連携した粘り強い指導を継続する（モラル・マナー・ルールの遵守）。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動等において意見や発案を引出すことができたか。また、生徒同士のコミュニケーションから、情報交換や人間関係の構築等の様子を観察できたか。 教員のスキルアップを図り充実した教育相談体制を構築できたか。 モラル・マナー・ルールと交通安全に対する生徒の意識向上を、日々の学校生活から確認できたか。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 計画的かつ継続した指導体制及び支援体制を図り、地元・地域と連携・協働する場面も通じて、学校外の教育資源を積極的に活用して生徒の自己実現を図る。 福祉科においては、介護福祉士養成をとおして、福祉を担う有為な人材の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 自らのキャリアプランを構築するために、引き続き系統的に指導・支援するとともに、学校外の教育資源も積極的に活用していく。 福祉科については、専門職としての資質を満たす学習内容を一層充実させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 高大連携や卒業生、地元企業による説明会等、また、地域探究活動も関連させ、地域とのつながりを大切にしながら、進路実現への取組を推進していく。 福祉科は、地域行事への参加を積極的に進めるとともに専門職としての意識を高め、学習内容を一層充実させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域とつながりを持った情報発信や指導・助言ができたか。また、進路未定の卒業生の人数が前年度より減少したか。 福祉科においては、専門分野への意識の向上と進路実現ができたか。また、介護福祉士国家試験合格率が全国平均を上回ったか。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 「地域探究」活動を推進し、地元・地域の特色を活かした生徒活動の場の拡充を図って、地元・地域における生徒の学習機会を充実させる。 学校情報の積極的な発信を図り、地域社会からも理解され愛される学校づくりを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定校事業2期目に入つて、地域探究活動の支援体制を充実するとともに、活動と評価の一体化を図る。 PTA活動等を通じた保護者との連携を深めて、協働した取組と学校情報の共有、発信を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科横断的な視点や、ループリックを使用した指導と評価を導入した探究活動を展開等し、地域の活動団体等との連携を強化していく。 生徒の活動の様子をはじめとした学校の活動情報の発信において、学校HP等を充実していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域企業や大学等との連携ソースの共有と協働、交流を積極的に進めるとともにループリック評価を定着させることで活動と評価を一体化するができたか。 学校HP内容を適時更新してきたか。また、PTA活動を活性化させ、学校行事に参加する保護者が増加したか。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 「自分の命は自分で守る」防災意識の向上を図るため、防災訓練等の内容を工夫・改善を進める。 働き方改革を推進し、生徒と教員が相互に関わる時間を確保していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 近年多発する自然災害を念頭に、地域における防災（教育）の充実を目指す。 生徒の学校生活にも資する働き方改革の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災教育において当事者からの話を聞くことが生徒の意識啓発に有効であったことから、継続した取組を進めていく。 ICT機器を活用するなど業務効率化を図り、生徒と教員が相互に関わる時間を確保していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 「当事者の話を聞く」も含めて、防災教育に新軸を打ち出し自然災害を身近な問題としてとらえる意識を引出すことができたか。 生徒と関わる時間を確保できるようになったという教員の実感が得られたか。